

・ 第30回 工業教育全国研究大会概要

第30回 工業教育全国研究大会 大会実行委員長 三輪 智英
(兵庫県立兵庫工業高等学校長)

日本工業教育経営研究会 会長 長田 利彦

日本工業技術教育学会 会長 巽 公一

1 大会日程

第1日 令和2年7月11日(土曜日) 理事会、総会、講演

第2日 令和2年7月12日(日曜日) 研究協議会

第1分科会(学会論文)、第2分科会(学会論文)、

第3分科会(工業教育の活性化)、第4分科会(課題研究・個性化・特色化教育)

2 会場

大阪電気通信大学 寝屋川駅前キャンパス

〒572-0837 大阪府寝屋川市早子町12-16

最寄駅：京阪本線 寝屋川市駅 徒歩3分

3 総会

4 講演(原稿発表)

講演Ⅰ「移動ロボットの現状」

株式会社 移動ロボット研究所 代表取締役 小柳 栄次 様

講演Ⅱ「受け継がれる技術・技能」

株式会社きんでん 人材開発部 志水 優太 様

5 研究協議(研究内容原稿発表)

第1分科会(学会論文)

1 「工業高校における共通教科情報の導入について」 及川 久遠(西日本工業大学)

2 「技術・工業科指導の視点」 石坂 政俊(日本大学)

3 「工業高校卒業生における継続的な学びの支援の在り方ー卒業生に対する調査結果」

島田 和典、作田 慶(東京学芸大学)

中村 豊久、長田 利彦、豊田 善敬、石坂 政俊(日本工業技術教育学会)

4 「実践体験型PBLによる工業科教員養成ー製品開発を課題とした大学生の技術・意識に
着眼した臨床的研究ー」 山田 啓次(大阪産業大学)

第2分科会(学会論文)

1 「付加価値型教育の一例 An example of value-added education」

塚原 修(福島・福島工)

2 「第4回ドイツ教育視察から見えてきたこと」 菊池 貞介(日本大学)

3 「高専におけるオンライン授業実践事例」 堀 桂太郎(明石高専)

4 「測量支援ソフトを活用した文化祭展示物の製作」

福田 義行(川崎市・川崎総合科学)

第3分科会(工業教育の活性化)

1 「パーソナルモビリティへの挑戦ーユニバーサルツーリズムを目指してー

『高等学校OPENプロジェクト』北海道教育委員会指定

早坂 宏之(北海道・滝川工)

2 「対話的な学びから創造的なものづくり活動を行った生徒の評価」

庄司 洋一(山形・村山産業)

3 「機械系と電気系による系横断型PBLを取り入れた課題研究」

福西 靖久、上妻 定之(大阪・西野田工科)

4 『好奇心・冒険心・匠の心』を育む電子機械教育

～「宇宙を教育に利用するためのワークショップ」を通して～

神田 雄司 (筑波大学附属・坂戸)

第4分科会(課題研究・個性化・特色化教育)

1 「橋梁アセットマネジメントの実践学習」

大友 悠央 (岩手・盛岡工)

2 「銅鐸・銅剣・銅鏡のレプリカ鋳造による考古学への貢献」～博物館での「ハンズオン展示」
推進を目指した6年間の軌跡～

竹下 邦彦 (兵庫・相生産業)

3 「工業高校における発酵食品の製造」

金田 耕一、菊池 直哉 (東京・杉並工)

4 「若年者ものづくり競技大会 メカトロニクス部門参加への指導方法」

竹内 勝彦 (東京・蔵前工)

・ 第30回 工業教育全国研究大会 総会議事

(1) 令和元年度 事業報告

1 第29回 総会

令和元年7月13日(土) 於 大阪電気通信大学 大阪府寝屋川市早子町12-16

2 講演・講話

講演Ⅰ「I o T・スマート工場と Edge computing の動向、工業高校に求める人材像」

横河電機株式会社 IA-PSITC エッジソリューション統括部

営業戦略部 製品推進 Edge Controllers 課 課長 清野 泰裕 様

講 話「高等学校学習指導要領の改訂と工業教育」

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官

文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室 教科調査官(兼任)

持田 雄一 様

講演Ⅱ「I o Tの現状と将来予測、今後の人材教育のポイント」

大阪電気通信大学 工学部 電子機械工学科 講師 小川 勝史 様

3 第29回 研究協議

令和元年7月14日(日) 於 大阪電気通信大学 寝屋川駅前キャンパス

第1分科会 学会論文発表 第2分科会 学会論文発表

第3分科会 工業教育の活性化 第4分科会 課題研究・個性化・特色化教育

4 理事会

令和元年7月13日(土) 於 大阪電気通信大学 寝屋川駅前キャンパス

5 刊行物

会報第54号 令和2年3月31日発行

学会誌第25巻 令和2年3月31日発行

第29回 総会・研究大会資料 令和元年7月13日発行

6 ドイツ教育視察

令和元年8月14日～8月22日 フランクフルト・シュツットガルト・フライブルグ・
ミュンヘン等

7 支部活動総会・研究協議会

北海道支部 令和2年1月8日(水) 札幌ベルエポック製菓調理専門学校

東北支部 令和元年11月23日(土)・24日(日) 秋田県立秋田工業高等学校

関東支部 令和元年11月23日(土) 埼玉会館

近畿支部 令和元年11月30日(土) 大阪電気通信大学 寝屋川駅前キャンパス

(2) 令和元年度 決算報告

令和2年5月4日

令和元年度 決算書

I 収入の部

科 目	予 算	決 算	増 減	備 考
① 前年度繰越金	45,194	45,194	0	
② 年会費	650,000	579,040	△ 31,310	正会員：579,040円 5,000円×117口+10,000円×1口 手数料15,960円、0円×24口 150円×55口+152円×2口、 200円×35口+203円×2口 賛助会員：39,650円 20,000円×2社、手数料350円
③ 雑収入	0	196,000	196,000	全国研究大会より戻入
		7,356	7,356	誤入金
合 計	695,194	867,240	172,046	

II 支出の部

科 目	予 算	決 算	増 減	備 考
① 会議費	4,320	0	4,320	会場使用料
② 通信連絡費	30,000	0	30,000	郵券、会報・学会誌送料
③ 会報発行費	5,000	0	5,000	会報第54号(令和2年度に)
④ 総会費	200,000	200,000	0	全国大会補助
⑤ 事務費	30,000	0	30,000	用紙、インク、文房具等
⑥ 支部補助費	200,000	103,545	96,455	支部補助
⑦ 学会費	100,000	97,260	2,740	学会誌第25巻印刷費・査読等
⑧ 予備費	125,874	90,465	△239,537	支部総会出張、祝金・慶弔
		267,490		理事等交通費補助
		7,456		誤入金返金
合 計	695,194	766,216	71,022	

III 差引残高

[収入] 867,240円 - [支出] 766,216円 = 101,024円 [次年度繰越金]

(3) 令和元年度 会計監査報告

令和2年5月4日

会計諸帳簿、伝票等を監査した結果、適正に執行されていることを認めます。

会計監事 松井 正夫 印

会計監事 浅岡 廣一 印

(4) 令和2年度 日本工業教育経営研究会役員(案)

○は現職

役職名	氏名	前歴又は所属	備考
会長	長田 利彦	東海大学	○
副会長	昆野 茂	北海道札幌工業高等学校	北海道支部長
	佐竹 清一	山形県立新庄神室産業高等学校	東北支部長
	田中 正一	埼玉県立大宮工業高等学校	関東支部長
	後藤 博史	全国工業高等学校長協会研究所	○
	豊田 善敬	日本大学	○
	棟方 克夫	日本大学	○
	北村 泰生	福井県立科学技術高等学校	北信越支部長
	河西 靖男	長野県長野工業高等学校	
	村山 健一	新潟県立長岡工業高等学校	
	松倉 泉	富山県立富山工業高等学校	
	澤田 豊	石川県立工業高等学校	○
	三輪 智英	兵庫県立兵庫工業高等学校	近畿支部長 ○
	大杉 和由	兵庫県生きがい創造協会	○
	阿部 政之	大阪府立淀川工科高等学校	○
	朝倉 一隆	広島県立総合技術高等学校	中四国支部長 ○
	森岡 直人	長崎県立長崎工業高等学校	九州支部長
	理事	池田 尚志	北海道札幌工業高等学校
太田 潤一		北海道札幌工業高等学校	○
福井 誠		北海道札幌琴似工業高等学校	
高橋 豪		北海道札幌琴似工業高等学校	○
佐々木 健		秋田県立由利工業高等学校	
藤原 修		岩手県立一関工業高等学校	
齋藤 悟		山形県立長井工業高等学校	
渡邊 秀雄		福島県立会津工業高等学校	
佐藤 正道		福島県立二本松工業高等学校	○
河村 一郎		山形県教育センター	支部事務局長 ○
毛利 昭		東京都立王子工業高等学校	
加藤 秀次		日本工業大学	○
早川 信一		拓殖大学	○
片受 健一		神奈川県立神奈川工業高等学校	○
後藤 宗治		神奈川県立神奈川工業高等学校	
當間 喜久雄		日本工業大学	○
長島 佳久		日本工業大学	○
真貝 清一		新潟県立上越総合技術高等学校	
小杉 克彦		金沢工業大学	○
森本 克則		長野県長野工業高等学校	
上野 敏		長野県長野工業高等学校	○

	六家 敬吉	富山県立高岡工芸高等学校	○
	諸角 敏彦	石川県立小松工業高等学校	○
	稲垣 裕	石川県立羽咋工業高等学校	○
	折井 巧	福井県立科学技術高等学校	○
	柄田 正行	福井県立武生工業高等学校	○
	戸谷 裕明	堺市立堺高等学校	○
	中西 淳一	大阪府立淀川工科高等学校	○
	秦 二三男	大阪府立淀川工科高等学校	
	永易 毅	愛媛県立松山工業高等学校	○
	吉村 勝美	山口県立岩国工業高等学校	○
	戸田 哲也	大分国際情報高等学校	
	及川 久遠	西日本工業大学	支部事務局長 ○
監 事	松井 正夫	京都市立洛陽工業高等学校	
	浅岡 廣一	東京都立蔵前工業高等学校	
評議員	大西 益巳	北海道札幌工業高等学校	支部事務局長 ○
	長谷 哲生	北海道札幌琴似工業高等学校	○
	佐藤 隆志	福島県立ふたば未来学園高等学校	○
	相原 孝博	神奈川県立小田原城北工業高等学校	
	高橋 勉	埼玉県立川口工業高等学校	○
	渡部憲治郎	神奈川県立神奈川工業高等学校	
	山下 昌幸	神奈川県立磯子工業高等学校	
	草刈 廣直	千葉県立清水高等学校	○
	小杉 哲也	東京都立杉並工業高等学校	○
	黒川 裕一	新潟県立長岡工業高等学校	○
	荒川 昇	長野県上田千曲高等学校	○
	道端 克彦	富山県立砺波工業高等学校	○
	福井 勉	石川県立羽咋工業高等学校	○
	服部 常義	福井県立武生工業高等学校	○
	安田 裕輝	大阪府立淀川工科高等学校	支部事務局長 ○
	若宮 智	広島県立広島工業高等学校	支部事務局長 ○
	本田 洋之	熊本県立熊本工業高等学校	○
事務局	菊池 貞介	日本大学	支部事務局長 ○
	中曾根 康	群馬県立前橋工業高等学校	○
	石坂 政俊	東京都立町田工業高等学校	

顧 問	吉岡 昇	北海道札幌工業高等学校	
	眞野 満男	北海道札幌工業高等学校	
	武部 良平	北海道札幌工業高等学校	
	四宮 知之	北海道札幌琴似工業高等学校	
	佐藤 俊	北海道札幌工業高等学校	
	遠藤 正友	山形県立米沢工業高等学校	
	川原 利夫	岩手県立盛岡工業高等学校	
	木村 弘	埼玉県立大宮工業高等学校	

氷田 正男	東京都立八王子工業高等学校	
竹之内 博次	東京都立世田谷工業高等学校	
鳥居 彦之	東京都立八王子工業高等学校	
梅田 政勝	神奈川県立神奈川工業高等学校	
飯田 敏明	神奈川県立川崎工業高等学校	
正一 恂	神奈川県立川崎工業高等学校	
田渕 勝廣	神奈川県立川崎工業高等学校	
加藤 登侑	神奈川県立平塚工業高等学校	
藤田 信雄	新潟県立柏崎工業高等学校	
久保田幸正	新潟県立長岡工業高等学校	
北 慎吾	富山県立富山工業高等学校	
北野 左京	福井県立科学技術高等学校	
荒川 義弘	福井県立科学技術高等学校	
一谷 昭	石川県立羽咋工業高等学校	
谷 勇	石川県立高浜高等学校	
中島 節治	富山県立富山工業高等学校	
池田 尚紀	富山県総合教育センター	
川嶋 繁勝	愛知県立愛知工業高等学校	
蜂須賀 豊	愛知県立愛知工業高等学校	
岩本 宗治	大阪電気通信大学	
奥嶋 建城	澁谷ものづくり人材育成研究所	
福留 輝男	兵庫県立兵庫工業高等学校	
徳野 理	兵庫県立武庫工業高等学校	
櫻井 和雄	兵庫県立尼崎工業高等学校	
前田 学	兵庫県立兵庫工業高等学校	
雨河 祐二	神戸松蔭女子学院大学	○
高橋 一夫	大阪府立藤井寺工業高等学校	
上出 満	大阪府立東住吉工業高等学校	
古賀 史郎	大阪府立今宮工業高等学校	
小田 旨計	大阪府立城東工業高等学校	
大澤 宣彦	大阪府立淀川工科高等学校	
難波 泰朗	岡山県立岡山工業高等学校	
瀬崎 宣利	広島県立広島工業高等学校	

(5) 令和2年度 日本工業技術教育学会役員 (案)

○は現職

役職名	氏名	所 属	備 考
会 長	巽 公一	拓殖大学	
副 会 長	池守 滋	足利大学	○
	伊藤 茂樹	北海学園大学	○
	大平 典男	筑波大学	
	田島 琢二	(株)マルトー	○
	中村 豊久	静岡大学	
	宮川 秀俊	中部大学	○
	本村 猛能	日本工業大学	○
	山下 省蔵	拓殖大学	
	理 事	大矢 二郎	北海道東海大学
尾高 広昭		岐阜大学	○
仲道 嘉夫		東京工業大学附属科学技術高等学校	○
堀 桂太郎		明石工業高等専門学校	○
房野 俊夫		佐世保工業高等専門学校	○
森山 潤		兵庫教育大学	○
西野 洋介		東京都立多摩科学技術高等学校	○
山田 啓次		大阪産業大学	○
監 事		松井 正夫	京都市立洛陽工業高等学校
	浅岡 廣一	東京都立蔵前工業高等学校	
事 務 局	工藤 雄司	茨城大学	○
	山口 敏和	江戸川大学	○
顧 問	岩本 宗治		
	井上 慶之助		○
	三谷 和夫		
	油浅 耕三		

賛助会員

企 業 名	所 在 地
実教出版株式会社	東京都千代田区五番町5
株式会社マルトー	東京都文京区春日2-4-1

(6) 令和2年度 事業計画

- 1 第30回 総会
令和2年7月11日(土) 大阪電気通信大学 大阪府寝屋川市早子町12-14
世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、学校運営に多大な支障をきたすとともに、イベント等の開催については、慎重な対応が要望されています。
これを受けて、令和2年度第30回工業教育全国研究大会については「中止」としました。
- 2 講演 (原稿発表)
講演Ⅰ「移動ロボットの現状」
株式会社 移動ロボット研究所 代表取締役 小柳 栄次 様
講演Ⅱ「受け継がれる技術・技能」
株式会社きんでん 人材開発部 志水 優太 様
- 3 第30回 研究協議 (原稿発表)
第1分科会 学会論文発表 第2分科会 学会論文発表
第3分科会 工業教育の活性化 第4分科会 課題研究・個性化・特色化教育
- 4 刊行物
第30回 工業教育全国研究大会 資料 令和2年11月20日発行
会報第55号 令和3年3月31日発行予定
学会誌第26巻 令和3年3月31日発行予定
- 5 支部活動 総会・研究協議会
新型コロナウイルス感染症のため中止する。

(7) 令和2年度予算 (案)

I 収入の部

科 目	本年度予算	前年度予算	増 減	備 考
④ 前年度繰越金	101,024	45,194	55,830	
⑤ 年会費	620,000	650,000	△ 30,000	正会員 579,040 (前年度実績) 賛助会員 39,650 (前年度実績)
⑥ 雑収入	0	0	0	利子等
合 計	721,024	695,194	25,830	

II 支出の部

科 目	本年度予算	前年度予算	増 減	備 考
⑨ 会議費	5,500	4,320	1,180	会場使用料
⑩ 通信連絡費	30,000	30,000	0	郵券、会報・学会誌送料
⑪ 会報発行費	100,000	5,000	95,000	会報第54号、55号
⑫ 総会費	0	200,000	△200,000	全国大会補助 (大会中止)
⑬ 事務費	30,000	30,000	0	用紙、インク、文房具等
⑭ 支部補助費	100,000	200,000	△100,000	支部補助 (支部総会中止等)
⑮ 学会費	100,000	100,000	0	学会誌第26巻印刷費・査読等
⑯ 予備費	355,524	125,874	229,650	30周年準備、支部総会出張等
合 計	721,024	695,194	25,830	